

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

デザインのイメージ
岩手山・チャグチャグ馬コ・滝の沢

第21号

平成30年3月15日
発行責任者：滝沢市議会議員
編集：広報常任委員会




自治会連合会との懇談の様子

「ごみ有料化」で市民懇談会

29年12月27日に自治会連合会（下田富幸会長）の皆さんと「ごみ有料化」について市民懇談会を行いました。議会側からは代表して、ごみ処理有料化に関する調査特別委員会の委員が出席し、テーマを踏まえ懇談しました。

市が30年10月からの導入をめざしている家庭ごみの有料化について、下田会長をはじめ各自治会の代表者からは「有料化の前にまず減量を」「市民への説明不足で時期尚早」などの意見が多く出されました。

ごみ処理有料化に関する調査 特別委員会調査報告

本委員会は、ごみ処理有料化に関する調査を行うために29年9月6日に設置され、担当課への事務調査、行政視察、市民懇談会を実施するなど調査を進めてきました。

調査に当たっては、次の6つの論点を整理し協議しました。

①政策の必要性

国の動向、岩手県内における本市の状況、将来のごみ処理広域化、市の部局の連携を図って行く

②提案に至るまでの経緯

27年に行われた財政構造改革検討会での「ごみ処理有料化」を発端として、28年の市長施政方針につながったことを確認しました。

③他の自治体の類似する政策との比較検討

北上市、矢巾町、茨城県土浦市の状況を調査し、3自治体とも実施に向けた計画は市民に対して納得できる方法が取られており、本市との進め方に多くの相違点がありました。

別はまだ不十分であることから、本市に合った取り組み方を改めて検討することが必要です。

④市民参加及び協働の実施の有無とその内容

市が行った市政懇談会では、住民協働で「ごみ減量」に取り組むことが必要との意見が多くありました。

⑤総合計画との整合性

27年3月に策定された「第1次滝沢市総合計画」には、ごみ処理有料化のみならず、ごみ減量化の方針（計画）は盛り込まれていませんでした。

⑥財源措置、将来にわたるコスト計算及び費用対効果

施策の検討が不十分であり、現時点での詳細な調査や議論は難しく、今後検討することが必要です。



今後、ごみ有料化の前に、市が集約した市民のアイデアや提言を踏まえ、速やかにごみの減量を徹底することが重要です。

また、今後のごみ有料化に関する検討にあたっては、市民へ丁寧な説明を行い、市民のコンセンサス（合意）が得られるように十分に時間をかけ、判断することを望みます。

議会ホームページをリニューアル スマホ等でインターネット中継が視聴可能

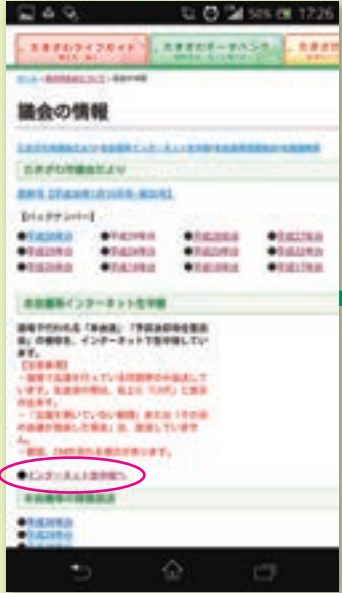
滝沢市議会では、ホームページをリニューアルしました。市民の皆さまに議会活動の様子や日程・新着情報など、より分かりやすくお伝えします。また、QRコードも作成しましたので簡単にホームページへアクセスし、議会中継をご覧ください。以下はスマートフォンの場合の操作方法です。

滝沢市議会 Q 検索

市議会ホームページ
にアクセスします



QRコードを
読み取ると




一般質問

2月会議

Q ごみ集積所への対応は

A 設置場所や費用のほか集積所の管理も重要です



滝政会 高橋 辰雄 議員

問 市内の各地域に設置されているごみ集積所の数は。
答 30年1月31日現在665カ所です。
問 ごみ集積所の新設と廃止の数は。
答 年間に新設は10カ所程度で、廃止は1カ所程度です。

問 ごみ集積所の設置基準は。
答 基準戸数をおおむね30戸、新規の集合住宅は20世帯とし、他に交差点や消防水利からの距離、交通量、道路勾配などの安全性を考慮した内容となっています。
問 ごみ集積所の新設費用の負担者は。
答 受益者である自治会や開発業者等の負担になります。
問 すぐやる予算 新設の考えは。
答 年度途中で、新たに必要となった予算については、補正予算で対応しています。

問 ふるさと納税の「すぐやる予算」への活用は。
答 ふるさと納税は、自然環境保全などに用途が決まっています。
問 予算編成に対する基本的な考えは。
答 公共の福祉のため最小の経費で最大の効果を前提に考えています。

Q 高齢者ドライバー対策は

A 公共交通へ移行しやすい環境づくりなどの情報を提供します



一新会 松村 一 議員

問 高齢者ドライバーによる交通事故対策の一環として運転免許証の自主返納を進めているが、本市の自主返納後の対策は。
答 関係機関と連携した取り組みにより、事故は年々減少しており、免許証の自主返納は増加しています。

問 地元企業の育成は、地域の基本となる産業基盤、雇用の基盤をしっかりと作っていくことが重要であると捉えています。今年度は事業承継や採用等の課題を多くの企業が抱えていることからセミナーを実施しました。今後も企業の課題に応じた育成支援を実施していきます。
問 家畜改良センター若手牧場用地の開発の必要性は。
答 当施設が位置する地域は、市街化調整区域のため、開発は困難なものと考えています。

Q 生活保護制度の来年度の方角性は

A 扶助費の変動幅が確定しておらず今後の動向を注視していきます



日本共産党 仲田 孝行 議員

問 政府は来年度から生活保護費を大幅削減しようとしている。この10年間で月1万3千円も減額され、さらに減額されれば最後のセーフティネットがその役割を果たせない懸念が生じているが、市独自の施策の実施は考えていますか。
答 生活保護基準については、全国消費実態調査のデータ等により、一般低所得者の消費実態と現行基準との専門的・科学的対比により検証しています。「基準」の見直しの変動がどの程度か確定していないため、今後の動向を注視していきます。

問 本市は他の類似団体に比べて職員数が低く抑えられており、そのため労働強化の実態はないか。
答 本市と類似する76の自治体の中で9番目に低い職員数になっています。職員の配置及び採用を計画的に進めており、現在の行政需要に対する職員数は確保できています。
問 保健職の残業が他の自治体に比べて多いのではないか。人員配置と労働実態は。
答 再任用職員も含め18人おり、市民の健康づくりや各種検診等に従事しています。健康推進課の時間外勤務は28年度、月19・1時間で市役所の課の中で中位にあります。

Q 「滝沢市健康づくり宣言」に向けた活動と宣言後の施策は

A 懇談会を設置し活力ある地域づくりに取り組みます



滝政会 稲荷場 裕 議員

問 滝沢市健康づくりに関する宣言懇談会設置の経緯とその協議の内容は。
答 PTA、商工業団体、体育協会、健康づくり支援者など代表14名で懇談会を設置し、スローガンや宣言書の構成に関する意見などを検討します。

問 健康づくり宣言後の施策は。
答 7月1日の岩手山山開きを「健康づくり宣言の日」として輪を広げ、宣言書の配布等で啓発地域健康づくり連絡会の周知をします。また支援者による検診受診勧奨、ラジオ体操推進、食生活の改善、自殺予防の啓発、自治会へのスローガンの周知などに取り組みます。賛同団体など横のつながりで「幸福を実感できる」活力ある地域づくりを推進します。

Q 近隣に被害を及ぼしている河川の改修事業は

A 応急的な対応や補助事業の導入を検討しています



一新会 日向 裕子 議員

問 昨年にも浸水の被害が発生した梶子川の改修計画は。
答 応急的な対応としてバイパス管や道路横断側溝を設置します。また、全面的な改修計画が必要ため補助事業の導入による財源確保を検討しています。

問 地域移行支援、地域定着支援などが追加され、関係機関と連携を図りながら、本人が希望する住み慣れた場所で生活できるよう支援しています。
問 難病患者と重度障がい者への支援の状況は。
答 25年に施行された障害者総合支援法で、障がい者の定義に難病が追加されました。また、重度障がい者への支援は、24年度からは研修を受けた介護職員等が、たん吸引を行うことができるようになり、26年度からは重度訪問介護で重度の知的または精神障がいの方が対象となりました。30年度からは病院内でも重度訪問介護へルバーを利用できます。

Q 特定不妊治療助成を受けた方のこれまでの人数と成果は

A 27年度32人28年度33人に助成し生まれた子どもの人数は23人です



滝政会 武田 哲 議員

問 特定不妊治療助成を受けた方のこれまでの推移と生まれた子ども、人数及び今後の助成見直しの考えは。
答 27年度は32人、28年度は33人の方に助成を行い、これまで23人の子どものが生まれました。

問 特定不妊治療助成を受けた方のこれまでの成果は。
答 市内には現在、2つの病院と18の診療所、19の歯科診療所があり、診療科目は内科、外科、整形外科、脳神経内科、小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科と多岐にわたっています。
問 新生児聴覚検査の状況は。
答 新生児聴覚検査は、新生児の4週間以内に産科医療機関で聴覚のスクリーニング、いわゆる聴覚の詳しい検査を必要とする子どもをできるだけ見逃さないための検査で、聴覚障がい早期発見、早期治療が図られるよう実施しています。

Q 自治体の災害保険への加入を検討すべきでは

A 保険料と災害状況等を比較・検討します



新志会 藤原 治 議員

問 自治体の災害保険は、さまざまな経費を対象としており、加入を検討すべきでは。
答 自治体を対象に29年4月に創設された「防災・減災費用保険」は、有効なものと認識しています。市が負担する保険料等

問 第1次滝沢市総合計画の基本構想で掲げる「市民と行政の連携」が不足していると感じる。前期計画の最終年度である30年度を迎えるにあたり、基本構想の「人とのつながり」を意識した全体計画に向け、行政への信頼感を獲得するため「市民とのふれあいによる行政サービス」の今後の展開は。
答 後期計画の策定年度となる30年度は「人とのつながり」をさらに意識し、より多くの市民の参加、地域との協働や企業との連携を図りながら、市民主体による「幸福感を育む環境づくり」の実現に向けた取り組みを進めます。

Q 市道の交通安全対策は

A 安心して利用できる道路環境の整備に努めます



公明党 小田島 清美 議員

問 幼・保育園児、高齢者への交通安全指導は。
答 幼児に対しては、交通指導員による交通安全教室を53回開催し、基本的な交通ルールを繰り返し指導しています。高齢者を対象としたものは19回、延べ720人の参

問 市道の改善要望書は43件あり、8件について改善を実施しました。また、歩道設置や道路拡幅路面標示の設置・補修等を実施しました。今後、安心して利用できる道路環境の整備に努めます。
問 野良猫の被害対策は。
答 市道の改善要望書は43件あり、8件について改善を行っている他、公共施設では、玄関などにアルコール消毒剤を設置し、入場者への使用励行を喚起しています。予防接種についても情報提供に努めます。

Q スポーツによるまちづくりとの関連について現在の状況は

A 世代を超えた地区コミュニティの形成に役立っています



一新会 齋藤 明 議員

問 市民体育祭等の成果とまちづくりとの関連は。
答 市民体育祭は、自治会対抗戦で行われるため各自治会の役員やスポーツ推進リーダーを中心に出場選手呼びかけ、練習試合の応援、反省会等が行われ、世代を超

問 国際社会のグローバル化に対応し、特色ある滝沢らしさ、教育環境の方向性は。
答 グローバル化の進展への対応は、英語によるコミュニケーション能力の向上、地域の歴史や文化等への教養も備える必要があると考えています。さらには、英語教育の充実と総合的な学習の時間の中で、滝沢の自然や産業及び地域の人材等を活用した学習を継続し、ふるさと滝沢に愛着と誇りをもつ人材の育成を重点に取り組みます。

問 特定不妊治療助成を受けた方のこれまでの成果は。
答 市内には現在、2つの病院と18の診療所、19の歯科診療所があり、診療科目は内科、外科、整形外科、脳神経内科、小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科と多岐にわたっています。

議決一覧（12月第2回会議）

○全員賛成で議決した議案

議案第 1 号	平成 28 年度市道畜産試験場柳沢線道路改良舗装その 2 工事請負変更契約の締結について
議案第 2 号	盛岡地区衛生処理組合の共同処理する事務の変更及び盛岡地区衛生処理組合理約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
議案第 3 号	岩手県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合理約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
議案第 4 号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議に関し議決を求めることについて

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

議決一覧（2月会議）

○全員賛成で議決した議案

議案第 1 号	平成 29 年度滝沢市一般会計補正予算（第 7 号）
請願第 1 号	「ごみ収集有料化」の中止を求める請願書

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

○請願

	件 名	請 願 の 趣 旨	請 願 者	結果
1	「ごみ収集有料化」の中止を求める請願書	滝沢市は 2018 年 10 月から、ごみ収集を有料化する計画を進めております。これは市民にはあまりにも唐突であり、有料化が必ずしも持続的な減量につながるという保証也没有ありません。むしろ不法投棄を助長する危険があります。 この「ごみ収集有料化」は、家計に大きな負担となることは必至です。 市は、ごみの資源化・減量計画などを提示し、本来のごみ処理のあり方を含め市民に丁寧に説明する責任があります。それに基づき、市民と自治会・町内会などの協力が得られれば「ごみ減量」は充分可能と考えます。 市の財源不足などを理由に全市民に「ごみ収集有料化」を押し付けしないでください。 私たちは滝沢市の「ごみ収集有料化」の中止を求めます。	ごみ処理のあり方を考える滝沢の会 共同代表 菅家 精喜 佐藤 美喜子 鈴木 久美子 藤沢 光一 室月 萬	採択

議会運営委員会では、次のとおり先進地視察調査を行いました。

【調査事項】

市民の意見を踏まえた政策提言の仕組みづくり

【視察先】

岐阜県高山市議会

【期日】

平成29年12月22日（金）

【調査目的】

議会報告会、市民懇談会、市民議会を行った際に寄せられた市民の意見をどのようにまとめ議会活動に生かすか、その仕組みづくりが当委員会の課題となっています。

市民の声を生かし、最終的な「議案審議」や「政策提言」にどのように結び付けるかについて、仕組みづくりを目的に調査研究を行いました。

【視察を終えて】

高山市議会では、委員会を中心に政策提言に係る調査を行い、全議員での十分な討議を経て政策提言につなげていました。

当市議会も高山市議会の活動を参考に、政策提言の実現に向けて仕組みづくりに着手し、引き続き議会改革に取り組みます。

議会運営委員会活動報告



高山市議会との意見交換の様子

滝沢市政調査会・雫石町政務調査会合同研修会開催

30年1月10日、雫石町立中央公民館を会場に、滝沢市政調査会と雫石町政務調査会との合同研修会が行われました。

今回は県内各地で出沒が報告されているイノシシの被害対策について、雫石町農林課林業グループ主任の谷崎修さんから講演がありました。

雫石町内での出沒の背景や被害対策、実際の捕獲状況について詳しく説明があり、地域ぐるみで被害防止へ取り組むことの大切さを学ぶ機会となりました。



谷崎修さんによる講演

3～5月議会の活動

3月19日(月)	予算決算常任委員会 ※	4月18日(水)	議会運営委員会
3月22日(木)	3月会議 ※	5月17日(木)	議会運営委員会
4月11日(水)	議会運営委員会	5月17日(木)	全員協議会
4月11日(水)	全員協議会		

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。

※は、議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

12～2月会議の傍聴者 35 名

傍聴におでんせ!

～お知らせ～

◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。

◎議場・議会事務局は市役所4階です。

◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

